

国際協力フェスティバル



FUKUOKA ASIAN MONTH

地球市民 どんたく 2010

ふれよう 学ぼう あゆみだそう

7/27の民族衣装で記念撮影
民族衣装
着付体験

報告書

参加者にも役立つ貴重資料
スタンプ
ラリー

NGOや国際交流団体とつながる
NGO
活動紹介
ブース

世界を学び体験しよう！
ワーク
ショップ

2010年

11月

6日

7日

入場無料

11:00~17:00

アクロス福岡2階 交流ギャラリー・セミナー室
福岡市中央区天神 1-1-1

主催：「地球市民どんたく 2010」実行委員会、財団法人福岡国際交流協会

共催：独立行政法人国際協力機構九州国際センター（JICA九州）、福岡市

後援：朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、筑紫新聞西部本社、特定非営利活動法人九州海外協力協会

協賛：財団法人西日本国際財団

協力：財団法人大宰府市国際交流協会、糸島市国際交流協会、宗像地域国際交流連絡協議会、志摩町国際交流町民会議

全体概要

実行委員会（ブース出展団体 23 団体）

運営内容の連絡・情報共有

運営委員会（正副実行委員長、JICA九州、(財)福岡国際交流協会）

運営に関わる協議・決定

ワーキンググループ

出展団体による企画立案

事務局（財）福岡国際交流協会

12年目を迎えた「地球市民どんたく」は国際交流及びNGO活動に対する市民の関心を高め、NGOの相互ネットワークづくりを目的に開催しました。「ふれよう 学ぼう あゆみだそう」をテーマに、福岡都市圏を中心に活動しているNGOや国際交流団体と、(財)福岡国際交流協会が実行委員会を組織し、出展団体の意見やアイデアをイベント運営により反映しやすくするためにワーキンググループを新たにつくり、これまで以上にみんなでイベントを作り上げるという意識を持てる体制にしました。

今年はアクロス福岡で2回目の開催であり、前回の経験を踏まえつつ、交流ギャラリー内での「NGO活動紹介ブース」を中心に、今回は交流ギャラリー横のセミナー室で独立して開催した「ワークショップ」、好評の「民族衣装着付け体験コーナー」、「スタンプラリー」を行い、新たに「世界のコインコーナー」と参加団体のPR映像を放映する「映像コーナー」を新設しました。

NGO活動紹介ブース・スタンプラリー

日時:2010年11月6日(土)、7日(日) 11:00~17:00

場所:アクロス福岡2階 交流ギャラリー

交流ギャラリーの様子



国際協力・国際交流を行う団体(出展団体は11月6日(土)、7日(日)とも20団体ずつ、合計23団体)が、写真パネル展示、資料配付、民芸品やフェアトレード商品の販売などを通じて活動紹介をしました。

スタンプラリーは、会場の全てのブースに出展団体につわる簡単なクイズを掲示し、正解するとスタンプを押してもらい、全てスタンプを押してもらうと出展団体が提供した民芸品などがもらえるもので、子供から大人まで楽しみながら各団体の活動内容を学ぶことができ、来場者には出展団体のスタッフと話すきっかけとしても好評でした。

当日の運営は事務局スタッフの他、一般公募のボランティア(2日間での延べ参加人数64人)の協力で行いました。ボランティアは、事務局ブース、総合案内ブース、民族衣装着付け体験コーナー、ワークショップの運営、来場者へのアンケートとスタンプカードの配布、当日のチラシ配り、各出展団体のサポートなど、当日運営全般を支えました。



来場者アンケートより

色々なことをしているのだなと思いました。私も参加してみたいと思いました。
(20代女性)

もっと理解して活動や参加してみたいと思いました。皆さんの活気で元気もらいました。
(30代女性)

世界のいろいろな災害、問題をどのような形で支援しているのかが、わかりやすく説明があり良かったです。
(30代女性)

身近な国々の事を知らなかったことが多いと改めて感じました。もっと、いろいろと知りたいと思いました。
(50代女性)

多くの団体があり、様々な活動を知る事ができ、自分もできることを何でもいいから、やってみたいと思いました。
(50代男性)

一口に支援といっても様々な方法が存在すること知り感銘を受けた。また、こういった機会があれば、参加したい。
(20代女性)

スタンプラリーがきっかけとなって、素直な会話ができて、面白く、しかもためになった。
(60代男性)

スタンプラリーは子供も大喜び。大人も子供も楽しみながら学べて勉強になりました。
(40代女性)

スタンプラリーをしていく中で、それぞれの国の話やNGOの活動の話が聞けてとても勉強になりました。
(50代女性)

多くの団体があり、知らない活動がたくさんあって、とても勉強になりました。スタンプラリーも楽しかったです♪
(10代女性)

ワークショップ

日時:2010年11月6日(土)、7日(日) 11:00~17:00

場所:アクロス福岡2階 セミナー室

出展団体のうち、7団体がワークショップを行いました。今年は交流ギャラリーからセミナー室に場所を移してブース出展から分離し、より多くの方が参加できるようになりました。活動内容の紹介はもちろん、インドネシアのレゴンダンスや中国の二胡演奏、カンボジアの地雷撤去の実演やさまざまな体験型プログラムなど、バラエティ豊かな内容で、国際協力・交流を身近に感じることができるプログラムでした。参加団体のスタッフの熱心な説明で、世界の実態を知るだけでなく、自分にできることを実行するきっかけとなったという来場者の方もいました。

11:00~ NPO法人バリ教育交流協会
[60分] レゴンダンス



13:00~ NPO法人バリ教育交流協会
[45分] バリ島のお供え物作り



14:00~ (特活) NGO福岡ネットワーク
[60分] 川のワークショップ



15:15~日本中国友好協会福岡支部
[90分] 中国語教室、二胡演奏他



6日(土)
開催

7日(日)
開催

11:00~国連NGO世界平和女性連合
[45分] ルワンダの現状



13:00~ (特活)ACE
[120分] 日本とガーナの家族、貿易について



15:15~ (特活)九州海外協力協会
[60分] 砂漠緑化紹介、バスボム作り



16:30~カンボジア地雷撤去キャンペーン
[30分] 地雷撤去の実演



民族衣装着付け体験コーナー ・ 世界のコインコーナー ・ 映像コーナー

日時:2010年11月6日(土)、7日(日) 11:00~17:00

場所:アクロス福岡2階 交流ギャラリー、セミナー室前(民族衣装着付け体験コーナー)



毎年好評の民族衣装着付け体験コーナーでは、アジア各国の民族衣装を着てもらって記念写真を撮影し、その場でプリントして無料で写真を提供しました。民族衣装はブース出展団体から持ち寄ってもらい、運営はボランティアを中心に行いました。

衣装は、スリランカやバングラデシュのサリーや韓国の子マチョゴリ、インドネシアのドレスなど、種類や色も多彩で、気軽に異国の気分を味わうことができました。



世界のコインコーナー

映像コーナー



世界地図を見ながらコイン(硬貨)がどの国のものか当てていくというワークショップ。普段は見慣れないコインがたくさんありました。(運営:ハビタット福岡市民の会)

出展団体のうち、7団体の活動状況の映像を流しました。また、WEBカメラで撮影したワークショップの映像をリアルタイムで交流ギャラリー中央の休憩コーナーで見ることができました。

地球市民どんたく 2010 活動実績

- ・団体活動紹介ブース(参加団体:23 団体)
11月6日(土) 20ブース、20 団体
11月7日(日) 20ブース、20 団体
- ・来場者数:約 900 人
(民族衣装着付け体験者:140 人)

- ・寄付の受付
日本円 500 円及び外貨多数
切手 53 枚
未使用プリペイドカード 27 枚
使用済プリペイドカード 1072 枚

- ・地球市民どんたく 2010 写真展
日時:10月15日(金)~11月7日(日)
会場:レインボープラザ(イムズ 8 階)
参加団体:7 団体(13 枚)

広報状況

地球市民どんたく2010ホームページ
<http://blog.livedoor.jp/chikyushimin/>



(「地球市民どんたく2010 ホームページ更新マニュアル」より)



「地球市民どんたく2010」を終えて

地球市民どんたく2010実行委員長

弥栄 睦子

(インドネシアの子供の教育を救う会 事務局)

今年で12回目を迎えた「地球市民どんたく2010」。市民の方に地元の国際協力・交流団体と直接ふれあう機会を提供し、ブースでの対話やさまざまな体験を通して世界を学び、地球市民として国際社会の平和と安定のために一歩踏み出してほしいという願いから、「ふれよう 学ぼう あゆみだそう」をテーマに掲げ、昨年に続いて、アクロス福岡2階の交流ギャラリーをメイン会場に開催しました。

今回のイベントの特徴として、交流ギャラリーに隣接するセミナー室で行った各参加団体の自主的運営による数々のワークショップが挙げられます。セミナー、活動報告、体験型の勉強会といった知的なものから、クイズやゲーム、楽器の演奏や踊り、作業のデモンストレーション、モノづくり体験など、身体をつかって楽しく学べるものまで、たくさんのプログラムを用意して、国際協力・交流のさまざまな魅力を、多くの方にじっくりと体験していただきました。またギャラリー中央に設置した「世界のコインコーナー」も子どもたちに人気を博しました。これらのワークショップは「地球市民どんたく2010」に参加した23団体がそれぞれに知恵と経験を持ち寄り、協力のもとで実現できた企画です。今後の「地球

市民どんたく」の在り方のひとつを示唆するものになったと感じています。また広報の点でもブログの活用、ツイッターでの口コミ宣伝、ユーストリームでのリアルタイム動画配信など新しい試みにチャレンジし、その可能性を見出すことができました。次回はさらにこれらを発展させていきたいと思っています。

すでに2011年11月5日～6日、アクロス福岡において13回目の開催が決まっています。干支でいうと一巡。「地球市民どんたく」もめでたく年男？年女？の年です。そろそろ自立して一皮むけた活動にしていきたいですね。「地球市民どんたく」開催日が、福岡市の国際ボランティアの日として認知され、市民全員で動ける日が早く訪れることを念願しています。

最後に、当日ボランティアで参加された皆様、そして後援・協賛・協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。皆様のお蔭で無事にイベントを終える事ができました。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

① 新聞

西日本新聞 11月5日(金)朝刊
毎日新聞 11月7日(日)朝刊

② タウン情報誌等

- ・「sub クリップ」(西日本リビング新聞社) 10月29日号
- ・「ACROS」(アクロス福岡情報誌)11月号
- ・「ims clip」(天神イムズ情報誌)11月号
- ・「市政だより」9月15日号
- ・「こくさいひろば」((財)福岡県国際交流センター機関誌)第81号

③ ウェブ

- ・地球市民どんたく2010 ホームページ
<http://blog.livedoor.jp/chikyushimin>
- ・ふくおか協働 Web
<http://www.nvc.pref.fukuoka.lg.jp/portal>
- ・ASUMIN WEB
<http://www.fnvc.jp>
- ・北九州市市民活動サポートセンター
<http://www2.kid.ne.jp/v-net/>

④ その他

アジアマンス公式ガイドブック、各団体のホームページ、各団体の会員さんへの働きかけ、各所でのチラシ配布、(財)福岡国際交流協会、福岡市の広報媒体

発行:「地球市民どんたく2010」実行委員会事務局、(財)福岡国際交流協会 発行年月 2011年2月

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 5階

TEL:092-733-5630 FAX:092-733-5635 Email:chikyushimin@rainbowfia.or.jp

表紙デザイン:岩丸 亜佳梨